



2021年12月21日

各 位

ブックオフグループホールディングス株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 堀 内 康 隆  
(コード番号:9278 東証第一部)  
問 合 せ 先 経営企画部長 原 良 太 郎  
電 話 番 号 042-750-8588

### 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を満たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額について、2025年5月期末を計画期間と定め、上場維持基準を充たすための取り組みを進めてまいります。

	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (百万円)	流通株式比率 (%)	売買代金 (百万円)
当社の状況 (移行基準日時点)	97,562 単位	9,491 百万円	47.4%	37 百万円
上場維持基準	20,000 単位 以上	10,000 百万円 以上	35% 以上	20 百万円 以上
適合状況	適合	不適合	適合	適合

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針

国内ブックオフ事業における積極的なIT・マーケティング投資及び「ひとつのBOOKOFF」構想の推進、富裕層向け事業の拡大、海外事業における積極的な店舗展開、M&A・事業開発の推進などを着実に進めるとともに、SDGs達成への取り組み、コーポレートガバナンス・コードへの対応等のESG関連施策の推進により、企業価値を継続的に向上させることで時価総額の向上を図ります。

また、東京証券取引所の一次判定結果における当社の流通株式比率は「47.4%」であり、プライム市場の上場維持基準を充足しておりますが、流通株式比率の向上に向けた取り組みも併せて実施することで、流通株式時価総額の向上を図り、プライム市場の上場維持基準適合を目指します。

### 3. 課題及び取り組み内容

#### (1) 時価総額向上に向けた現状の課題及び取り組み

企業価値を向上させるとともに、株式市場で適正な評価を得ることが課題と捉えております。当該課題を解決するために、以下の取り組みを実施してまいります。

- ① 中期業績想定達成に向けた取り組み
- ② ESG 関連施策の推進
- ③ 株主還元施策

#### (2) 流通株式比率向上に向けた現状の課題及び取り組み

当社株式の流動性を向上させることが課題と捉えております。特に、政策保有株として当社株式を保有している上場会社等の保有株式に関する当社の考え方を明確にするとともに、当社株式の流動性向上に資する施策に取り組んでまいります。

上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容の詳細については、添付の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

以 上

# 新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書

2021年12月21日

ブックオフグループホールディングス株式会社

証券コード：9278

**BOOKOFF**  
GROUP HOLDINGS

# 目次

1.上場維持基準の適合状況及び計画期間	・ ・ ・ ・	2
2.上場維持基準適合に向けた基本方針	・ ・ ・ ・	3
3.現状の課題及び取り組み	・ ・ ・ ・	4
4.具体的な取り組み内容		
(1) 時価総額向上に向けた取り組み		
①中期業績想定達成に向けた取り組み	・ ・ ・ ・	5
②ESG関連施策の推進	・ ・ ・ ・	11
③株主還元施策	・ ・ ・ ・	13
(2) 流通株式比率向上に対する取り組み	・ ・ ・ ・	14

# 1.上場維持基準の適合状況 及び 計画期間

## ■上場維持基準の適合状況

当社の移行基準日（2021年6月30日）におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況（※）は、「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。

	プライム市場 上場維持基準	当社の数値
流通時価総額	100億円	94.9億円

※ 「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」  
（株式会社東京証券取引所より、2021年7月9日付 受領）

## ■計画期間

上場維持基準を充たすための計画期間を、「中期の業績想定」（※）最終年度となる「2025年5月期末」までとし、本計画書に記載する各種取り組みを進めてまいります。

※ 「今後の経営方針と中期の業績想定」を2021年7月14日に公表しております。  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/9278/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym1/103541/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/9278/ir_material_for_fiscal_ym1/103541/00.pdf)

### ■基本方針

国内ブックオフ事業における積極的なIT・マーケティング投資及び「ひとつのBOOKOFF」構想の推進、富裕層向け事業の拡大、海外事業における積極的な店舗展開、M&A・事業開発の推進などを着実に進めるとともに、SDGs達成への取り組み、コーポレートガバナンス・コードへの対応等のESG関連施策の推進により、企業価値を継続的に向上させることで 時価総額の向上を図ります。

また、東京証券取引所の一次判定結果における当社の流通株式比率は「47.4%（※）」であり、プライム市場の上場維持基準を充足しておりますが、流通株式比率の向上に向けた取り組みも併せて実施することで、流通株式時価総額の向上を図り、プライム市場の上場維持基準適合を目指します。

※ 「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」  
(株式会社東京証券取引所より、2021年7月9日付受領)

#### (1) 時価総額向上に向けた現状の課題及び取り組み

企業価値を向上させるとともに、株式市場で適正な評価を得ることが課題と捉えております。当該課題を解決するために、以下の取り組みを実施してまいります。

- ① 中期業績想定達成に向けた取り組み
- ② ESG関連施策の推進
- ③ 株主還元施策

#### (2) 流通株式比率向上に向けた現状の課題及び取り組み

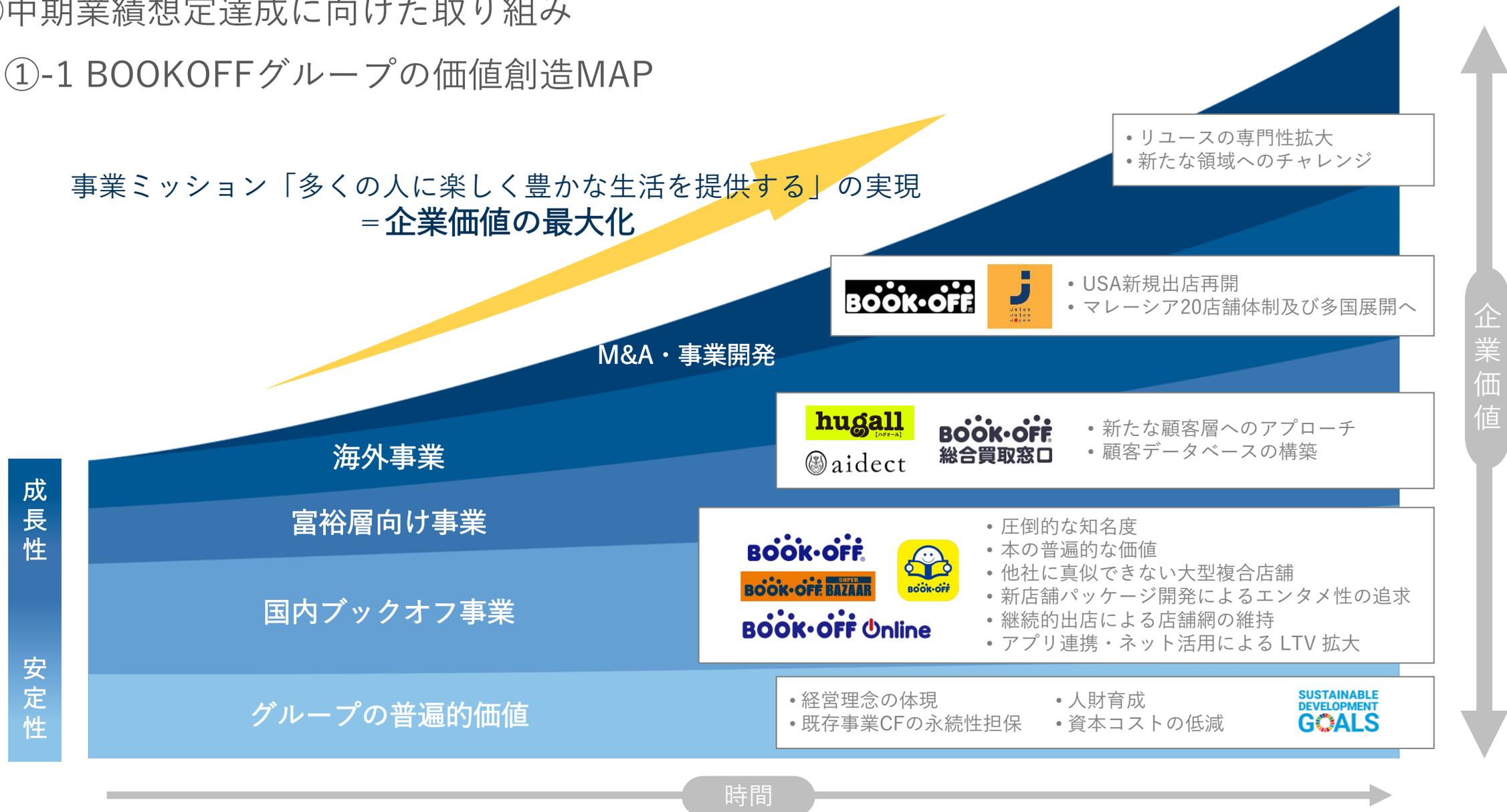
当社株式の流動性を向上させることが課題と捉えております。特に、政策保有株として当社株式を保有している上場会社等の保有株式に関する当社の考え方を明確にするとともに、当社株式の流動性向上に資する施策に取り組んでまいります。

## 4.具体的な取り組み内容 (1) 時価総額向上に向けた取り組み

### ①中期業績想定達成に向けた取り組み

#### ①-1 BOOKOFFグループの価値創造MAP

事業ミッション「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」の実現  
= 企業価値の最大化



## 4.具体的な取り組み内容 (1) 時価総額向上に向けた取り組み

### ①中期業績想定達成に向けた取り組み

#### ①-2 国内ブックオフ事業



書籍・ソフトのほか  
様々な商材を取り扱う  
大型複合店

国内48店舗  
(うちFC1店舗)



書籍・ソフトメディア  
を中心とした中小型店

国内621店舗  
(うちFC353店舗)



書籍・ソフトメディアに  
アパレルなど加えた  
中型複合店

国内70店舗  
(うちFC27店舗)

※店舗数は2021年5月末時点

- 日本国内での圧倒的な知名度と店舗網により、書籍をはじめとした様々な商材のリユースをお客様にお届け

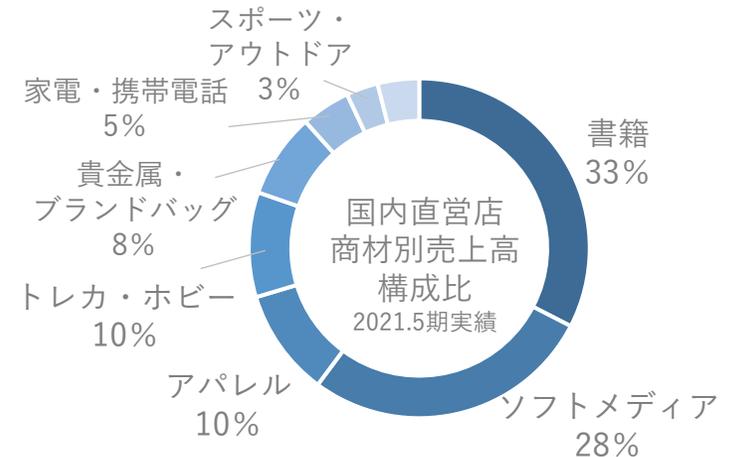
認知度 **No.1** **BOOK-OFF** を知っている  
96%

※2016年8月時点 調査委託先：マクロミル

利用客数 **No.1** 年間売買のべ  
約9千万人

※他社は1店舗あたり利用客数より当社推計

書籍在庫数 **No.1** 書籍在庫  
1億冊超



## 4.具体的な取り組み内容 (1) 時価総額向上に向けた取り組み

### ①中期業績想定達成に向けた取り組み

#### ①-2 国内ブックオフ事業

■公式スマホアプリを基点にした「ひとつのBOOKOFF」構想



■地域特性に応じた商材導入や店舗のエンタメ化で「個店を磨く」



BOOKOFF PLUS  
和歌山国体道路店  
アパレル売場をトレカ売場へ転換



BOOKOFF SUPER BAZAAR  
17号前橋リリカ店  
店舗内に“REMARKET”出店



BOOKOFF PLUS  
長久手グリーンロード店  
ボードゲームカフェ開設



BOOKOFF  
自由が丘駅前店  
アパレル・ハイブランド販売強化

- 店舗リニューアルによる売場の活性化と、公式スマホアプリを基点とした利便性の向上及び利用機会の創出により、お客様のLTVを最大化

## 4.具体的な取り組み内容 (1) 時価総額向上に向けた取り組み

### ①中期業績想定達成に向けた取り組み

#### ①-3 富裕層向け事業



9拠点

大手百貨店に買取相談窓口を開設。ブランド品、ジュエリーのほか、骨董品、美術品などの高価格帯商材を買い取り、EC及びBtoBで販売



14拠点

東京に自社工房を構えるジュエリーオーダー&リフォームスペシャリティストア

大手百貨店を中心に  
積極展開継続

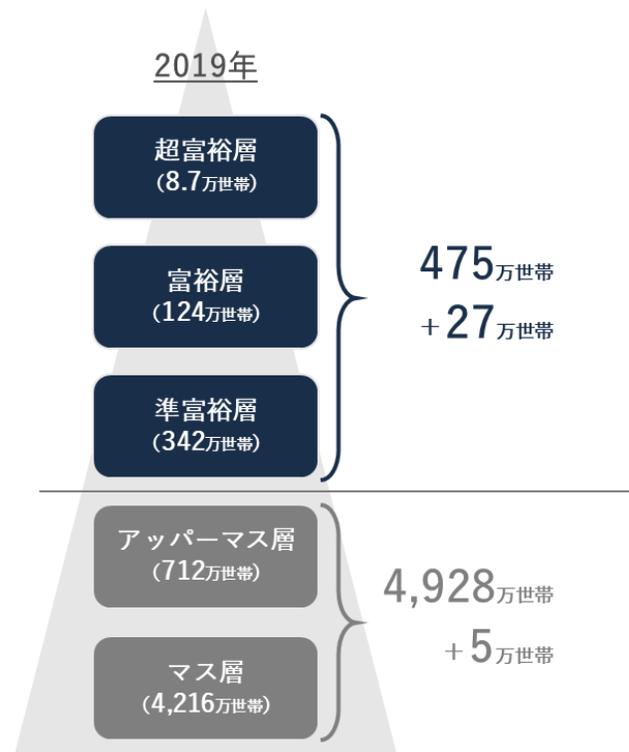


15店舗

洋服・ブランド品・小型家電などを  
中心とした買取特化型店舗

東京都内を中心とした  
高級エリアに出店再開

※店舗・拠点数は2021年5月末時点



※ 野村総合研究所「NRI富裕層アンケート調査」



- ターゲットとなる富裕層世帯は近年増加しており、拠点増が買取・収益増に直結する状態
- オペレーション効率化やグループ内物流網の活用により、収益体質は改善
- BOOKOFFならではのアプローチを武器にターゲット層との接点を最大化

## 4.具体的な取り組み内容 (1) 時価総額向上に向けた取り組み

### ①中期業績想定達成に向けた取り組み

#### ①-4 海外事業

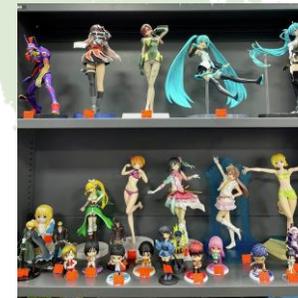
※店舗数は2021年5月末時点



775店舗



9店舗



日本国内で  
販売されなかった  
商材の供給

- ✓ 国内で販売機会に恵まれなかった商材の有効活用（現地での買取は行わない）
- ✓ 国内供給網拡充でマレーシア20店舗体制へ
- ✓ 外部パートナーによる加盟店なども活用し、多国展開開始

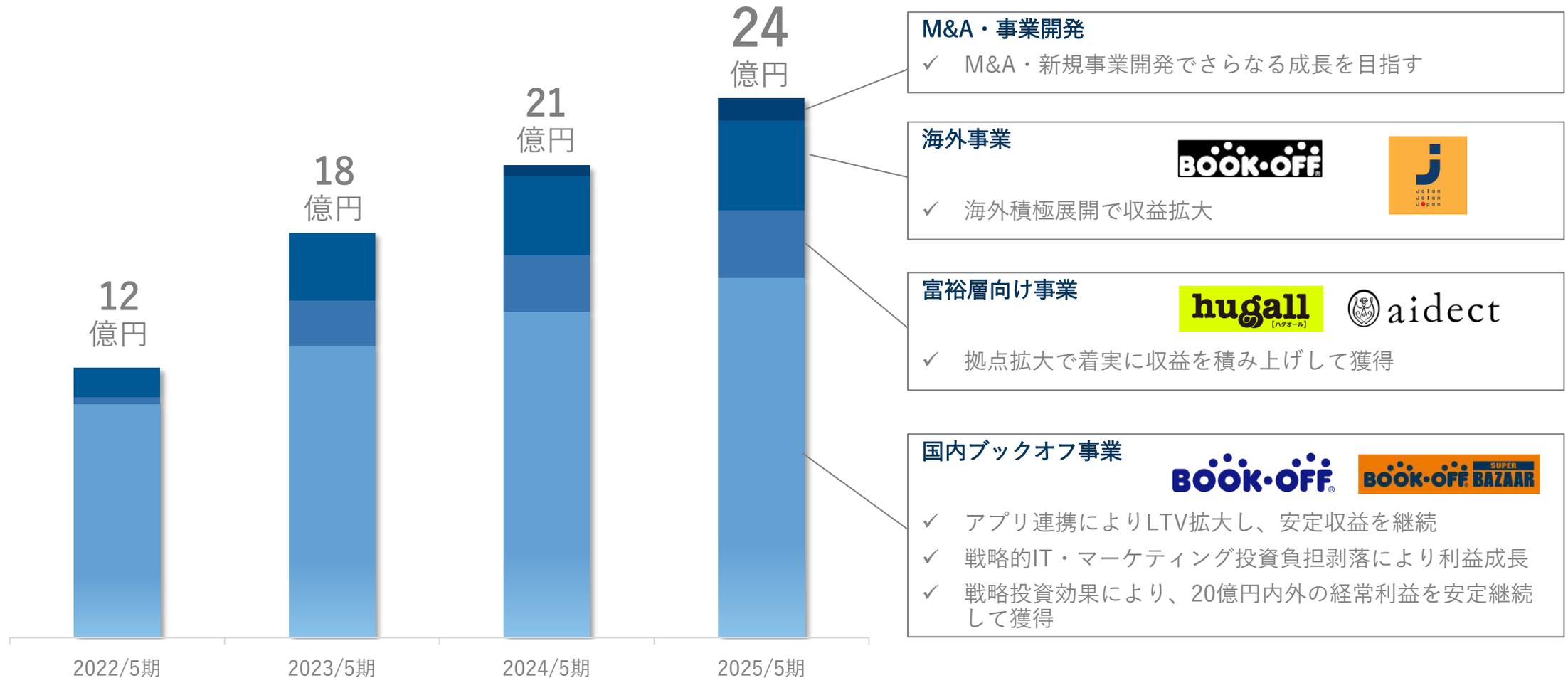
- ✓ コロナ禍を経て現地での買取・販売が好調に推移。現地ストアマネージャーの育成に注力
- ✓ Japan Animeが現地で大好評。日本からの輸入商材を高付加価値化
- ✓ 収益体質が整い、8年ぶりに新規出店再開へ

- 米国内BOOKOFFの新規出店再開と、Jalan Jalan Japanのマレーシア国内展開及び多国展開開始で、グローバル展開を加速

## 4.具体的な取り組み内容 (1) 時価総額向上に向けた取り組み

### ①中期業績想定達成に向けた取り組み

#### ①-5 経常利益水準の推移の想定



## 4.具体的な取り組み内容 (1) 時価総額向上に向けた取り組み

### ② ESG関連施策の推進

#### ②-1 SDG s 達成への取り組み

ブックオフでモノを売ったり、買ったりする行動そのものがモノの寿命を延ばし、捨てるモノを減らすという社会貢献につながっています。これはSDG s 12の「つくる責任、つかう責任」目標を達成させることにおいて、非常に重要な役割となります。これらをはじめ、我々の中心事業であるリユース業を軸に様々な活動を通してSDG s 達成に貢献してまいります。

BOOK-OFF

hugall

リユース と 古紙リサイクル



雇用の創出  
良質な商品・アパレル提供



aidect

宝飾品リペア 代々の継承



特例子会社

ビーアシスト

障がい者支援 雇用の創出



相模原市  
Sagami-hara City

南知多町  
Minamichita town

企業・行政・NPO団体との  
パートナーシップ



#### 不用品の再生による循環

「古紙→再生紙年間約38,566t」  
「ソフト→再生樹脂に1,481t/年」  
「衣料→ウエス・海外販売に4,361t/年」  
「携帯電話→貴金属・部品に30万台/年」  
外部協力会社を通じて再利用・再資源化を推進しています。



#### 学校教育への参画

私たちのリユース事業や業務、様々な取り組みについてのカリキュラムを作成し、子どもたちに向けて授業を実施しています。

### キモチと。



#### クラウドファンディング「キモチと。」

ブックオフが提供する、不要になったモノの買取金額で寄付・応援・支援を行う「キモチと。」による累計応募金額は3億5千万円を超えました。



#### 特例子会社ビーアシスト

障害者雇用に関する優良な中小企業に対する認定制度（通称：もにす認定制度）に認定されました。

## 4.具体的な取り組み内容 (1) 時価総額向上に向けた取り組み

### ② ESG関連施策の推進

#### ②-2 コーポレートガバナンス・コードへの対応

新市場区分の趣旨を理解し、プライム市場に要求される水準を充足する企業を目指します。

については、2021年6月に改訂された「コーポレートガバナンス・コード」のうち、プライム市場のみに適用、あるいはプライム市場に加重される以下の原則を中心に、実施に向けて取り組んでまいります。実施に向けた現在の状況は、以下のとおりです。

補充原則	内容	対応状況
1-2 ④	機関投資家向けに議決権電子行使プラットフォームを利用可能とすべき	当社は、インターネットによる議決権行使及び招集通知の英訳を行っております。また、2022年8月開催の定時株主総会より、議決権電子行使プラットフォームの利用を予定しております。
3-1 ②	開示書類のうち必要とされる情報について、英語での開示・提供を行うべき	当社は、招集通知、決算短信及び決算説明会資料を英語でも開示しております。
3-1 ③	気候変動に係るTCFDと同等の開示の質と量の充実を進めるべき	当社の事業活動が気候変動に与える影響について必要なデータの収集と分析を行い、国際的に確立された開示の枠組みであるTCFDまたはそれと同等の枠組みに基づく開示の質と量の充実を目指して検討してまいります。
4-8	独立社外取締役を少なくとも3分の1以上選任すべき	当社は、当社が定めた社外取締役の独立性判断基準に基づき、現在、取締役10名（監査等委員である取締役3名を含む）のうち、独立社外取締役を3名（監査等委員である取締役1名を含む）選任しております。本計画期間中の適合を前提に、今後候補者の選定を進めてまいります。
4-10 ①	各委員会(指名委員会・報酬委員会)の構成員の過半数を独立社外取締役とすることを基本とし、その委員会構成の独立性に関する考え方・権限・役割等を開示すべき	<p>当社は、経営陣幹部・取締役の指名・報酬などに係る取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任を強化するため、任意の指名諮問委員会及び報酬検討委員会を設置しております。また各委員会は、社長及び独立社外取締役3名の計4名で構成されており、その過半数を独立社外取締役が占めております。各委員会の役割はそれぞれ以下の事項となっており、委員の過半数の賛成をもって決議又は答申内容を決定し、取締役会に対して報告又は答申を行っております。</p> <p>(指名諮問委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取締役の選任及び解任に関する株主総会議案に関する事項</li> <li>・代表取締役の選定及び解職に関する取締役会議案に関する事項</li> <li>・取締役の選任・解任、代表取締役の選定・解職の基準の整備に関する事項</li> <li>・社外取締役の独立性判断の基準の制定に関する事項</li> <li>・その他、取締役会から要請又は委任を受けた事項</li> </ul> <p>(報酬検討委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取締役（監査等委員を除く。）の報酬等の決定に関する事項</li> <li>・取締役の報酬限度額に関する株主総会議案に関する事項</li> <li>・その他、取締役会から要請又は委任を受けた事項</li> </ul>

## 4.具体的な取り組み内容 (1) 時価総額向上に向けた取り組み

### ③株主還元施策

#### ■配当施策

当社は、利益配分を経営の最重要事項の1つと認識し、業績向上を通じた増配を目指しつつ、内部留保については、財務体質の強化と将来の事業基盤強化につながる戦略的投資に対して有効に活用してまいりたいと考えております。

また、連結純利益に対する配当性向は30～35%程度を目処に、業績に裏付けされた安定的な配当を実施していく方針であります。

上記方針に基づき、2022年5月期の期末配当金につきましては、前期実績より2円増配し、1株当たり8円を予定しております。

また、今後の利益成長に応じて増配を進めていく方針であります。

	19/3期	20/3期	21/5期	22/5期 予想
1株あたり純利益	112.19円	13.77円	9.03円	22.93円
1株あたり配当金	15円	6円	6円	8円
配当性向	13.4%	43.6%	66.4%	34.9%

#### ■株主優待

当社株式は個人株主様による保有割合が大きく（2021年5月末40.6%、2020年市場平均16.8%）、かつ当社店舗をご利用いただくお客様が多いという特徴がございます（当社実施の株主様アンケートより）。

これら株主様＝お客様の店舗利用機会をより増やしていただきたい、また、そうでない株主様にもお客様としてご利用いただきたいという趣旨により、株主優待制度を導入しております。

今後さらなる株主様満足度向上ならびに店舗利用機会の増大を目的に、株主優待内容の拡充を検討してまいります。

（現在の優待内容）

毎年5月31日現在の株主名簿に記載又は記録された1単元（100株）以上を保有する株主様へ、以下の保有株式数、保有期間に応じてブックオフグループの店舗で使用できるお買物券を進呈いたします。

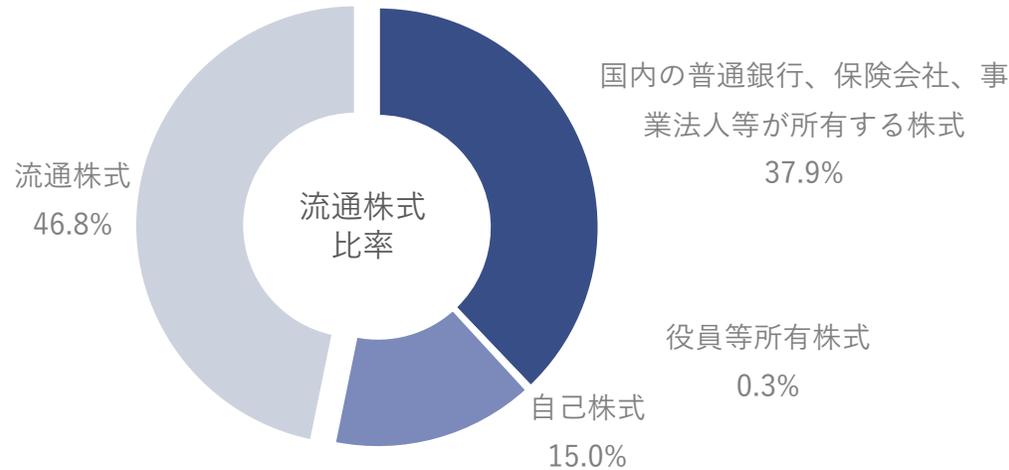
保有株式数	保有期間	
	3年未満	3年以上※
100株～200株未満	2,000円分	2,500円分
200株～500株未満	3,000円分	4,000円分
500株以上	5,000円分	7,500円分



※保有期間3年以上の株主様とは、保有株式数が過去3年以上継続して所定の株式数以上であることが当社の株主名簿に同一の株主番号で記載または記録されている株主様をいいます。なお、保有期間にはブックオフコーポレーション株式の保有期間を含みます。

## 4.具体的な取り組み内容 (2) 流通株式比率向上に対する取り組み

### ①現状の流通株式比率 (2021年11月末現在 当社試算による)



### ②政策被保有株式に関する考え方

国内の普通銀行、保険会社、事業会社による当社株式の保有の多くが政策保有株であるものと推測されます。当該企業の政策保有株式に関する方針（保有目的・保有効果等）を尊重する一方、今後、当社株式の保有を削減・解消する決定がなされた場合には、その実施による当社株価への影響を考慮した方法によることを強く要請いたします。

### ③自己株式に関する考え方

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策遂行及び資本効率の向上のため、自己株式を保有しております。  
(2021年11月末現在3,088,900株)

将来の事業成長に必要なM&A等の実施時においては、自己株式の積極的な活用を検討し、流通株式数の増加を図ります。なお、短期局面では、一時的に自己株取得による市場の需給バランスを図り、当社株式の適正な株価の維持に努めるなど、柔軟な施策をとってまいります。

本資料に関するお問い合わせ先

ブックオフグループホールディングス株式会社 経営企画部

Mail : [irinfo@bookoff.co.jp](mailto:irinfo@bookoff.co.jp)

<https://www.bookoffgroup.co.jp/contact/form4.html>

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち、歴史的事実でないものは、当社が現在入手可能な情報に基づき判断した将来の見通しに関する記述であり、経営環境等の変化により内容が大きく変動する可能性があります。